

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	実質化前のプランの作成年月	実質化前のプラン更新年月
能代市	富根地区(駒形、飛根、富田地区)	2021年3月15日	2013年11月	2020年10月

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	517.36ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	479.71ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	258.18ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計(継いでくれるか不明)	46.50ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計(後継者なし)	86.79ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	82.04ha
(備考)	
(1)二ツ井町駒形	田：45.91ha 畑：8.33ha 計：54.24ha
(2)二ツ井町飛根	田：348.71ha 畑：21.92ha 計：370.63ha
(3)富田地区	田：90.05ha 畑：2.44ha 計：92.49ha
富根地区合計((1)~(3)合計)	田：484.67ha 畑：32.69ha 計：517.36ha
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に基盤整備が完了し、約400haが大規模ほ場となっている</li> <li>基盤整備実施地域外は山間部のほ場となっており、小規模の水田が多くある</li> </ul>	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>山間部については、耕作放棄地が多く農地の利用は困難となっている</li> <li>駒形地区は水利条件が悪く、担い手がいない畑作に切り替えても熊や猪に荒らされる</li> <li>山間部の後継者の育成や新規就農の促進が喫緊の課題である</li> </ul>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手に集積・集約化する</li> <li>担い手の分散錯圃を解消する</li> </ul>
富田地区では規模拡大を希望する経営体が多く、農地の集約・団地化を進めていく
駒形地区では入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく
飛根地区では規模拡大を希望する経営体へ集積・集約を進めていく

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者と法人を中心に団地化を進めて、作業効率を上げて作付面積を維持していく</li> <li>耕作放棄地を解消する</li> </ul>
<b>農地中間管理機構の活用方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸付ける</li> <li>農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける</li> <li>担い手の分散錯圃を解消するため利用権を交換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける</li> <li>毎年行われる話し合いを農地の所有者にも周知し、耕作が困難な場合は制度の活用を勧めるようにする</li> <li>規模拡大を目指している経営体に借受の登録をしてもらう</li> </ul>
<b>農地の貸付け等の意向(意向調査より確認)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸付け等の意向が確認された農地は、97筆、約17.6haとなっている</li> <li>売りたい意向が確認された農地は、40筆、約8.0haとなっている</li> </ul>